

1、日時 令和7年3月13日 18:30～

2、場所 伊丹市立南小学校 多目的室

3、出席者

協議会委員 上田幸治会長、宮谷富久美委員、木付由美子委員、中村亜希委員、浦山美樹委員、
谷口昌彦委員、宮本珠代委員、小中村政則委員、土井智宏さん(堀中俊輔委員代理)、
堀口友美委員 (委員14名中11名うち1名代理)

教職員 植松俊二校長、藤原和人教頭

4、内容

1)会長挨拶

2)学校長挨拶

3)協議事項

・学校評価(学校長より説明&質疑応答)

○今まで教育課程という部会の中で学校評価に取り組んでいたが、今年度から学校評価の専門部署を作り4月から計画的に取り組んだ。前期と後期の2度にわたり学校評価を行った。前期の評価を元に後期に修正をして取り組み、今までよりスムーズで深く行えた。

○前期より後期の方が、評価は下がる。後期の方が本当の取り組みの結果の数字だと受け止めている。

○保護者アンケートからの考察として、読書週間が課題。学校としても取り組むが地域・家庭とも連携して取り組みたい。タブレットに関するご意見も多く、タブレットの使用方法やネットリテラシーについても大きな課題で取り組み必要。

○児童アンケートについて

5年前「学校に行くのが楽しい」の項目が70%くらいと驚くほどに低かった。そこで、それを課題として取り組み回答が90%前後に上がってきた。

「授業がわかりやすい」も回答が上がった。『つながりの研究』の成果とみている。

「自分にいいところがある」が80%前後で課題だと思っている。児童の自己肯定感・自尊心を伸ばし、自分を好きになってもらえるように取り組みたい。

「不安や悩みがあれば先生に相談することができる」が70%程度で、職員の中で課題に感じている。

「タブレットの使い方のルールを守り安全に使うことができる」が95%。大人から見たら心配な事ばかりだが、子どもは安全に使えていると思っている。この差をどのように対応していくかは大きな課題。

「自分の考えを使えることが好きだ」自尊心にも繋がる。自分に自信を持って主体的に行動しながら、困難を克服する・苦手な部分を乗り越えていく。という事に繋がっていくと考える。「人の話を聞くのが好きだ」にもつながる所で、人の意見を聞きながらも自分の意見をもつことも大事。

○学校評価総括表について

学力の項目で自己評価 B→「自分の考えを友達に伝えるのが好きだ」のアンケート評価が低い(70%前後)。『つながりの研究』のテーマもあり、ここは学校側として大事にしているポイントなので B 評価にした。ただし、概ね良い取り組みの成果があった。九九道場は2年生の参加率90%以上で地域の方にも喜んでいただけて、地域・家庭・学校全体にとってもいい取り組みだったので継続していきたい。

また プレ九九道場で 6 年生が 2 年生の九九を聞き取りしたのもいい取り組みだった。異学年交流や 6 年生が低学年に何かを教えたり、お世話をするのはどちらにもいい影響があると思う。そこで来年からの大きな取り組みの一つとして、

6 年生の教室と 1 年生の教室を同じ階に設置する。4 月から 6 年生と 1 年生の交流を活発にすることを目的に段階的にやっていく。

→1 年生が大きな 6 年生に怖がらないようフォロー気を付ける。普段の生活から小さな 1 年生に優しく接するよう 6 年生にとっても学びになると考えている。

○情報について(デジタル)

ネットリテラシー課題。学校だけでなく、地域・家庭と連携必要。

デジタルを使うが今までのテーマだったが、今はアナログとデジタルと両方を上手に使い分けられるように。

英語教育にて、5 年生はオーストラリアの学校・6 年生は中国の学校とネットで交流授業をした。このようにデジタルの活用も進んでいる。英語教育充実。

○こころの教育について

自己評価 B。

コミスクとのいじめ防止標語の取り組み。3、4 年前にいじめ重態事案が 2 連続で起こった。それについて重く受け止め、地域と一緒に考えて取り組んでいるのは他校にない大きな取り組み。

学校で起こっている課題として、「障害のある子への差別」「部落差別」「海外出身児童への嫌がらせ」等に対する危機感。来年度に道徳・人権同和のカリキュラムの見直しをして取り組み強化を図る。

不登校、他校も増加傾向の中で微減傾向に。別室の充実や組織的な対応(園芸ボラも)の成果が出ていると感じている。

○体力について

基本的な生活習慣の中で、睡眠教育(市の大きな取り組み。市と大学と連携して取り組んでいる)を進める。

○教育相談体制

特別支援学級 2 学級増。本校は来年度に通級の拠点校になる予定。学校の中心にインクルーシブ教育を入れ、特別支援学級を軸としたユニバーサルデザイン(誰もが幸せに楽しく学べる)。教員も研修を多く受けて特別支援級への理解を

深めていっている。

教職員の資質の向上。前向きな職員が増え、団結力に自信ある。ロールモデルの職員を増やし、他教職員もそこに憧れ・目指すように。

○安全・安心について

防災教育を中学校とも連携して取り組みたい。地域と幼・小・中が連携して防災訓練のようなものが出来れば面白い。

○意見・質問

ソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの数と学校の先生の多忙さやフォローについて

→学校評価の総括のところでソーシャルワーカーとスクールカウンセラーの充実について質問がある。学校に一名が市の規定。しかし 大規模校なので 1 名配置は PTA から市に呼びかけているが、市の都合もあるので増員は難しいところ

もある。

若い先生の指導は、月に一回程度で元校長先生に授業を見てもらって相談に乗ってもらっている。市に要望して制度を活用していて、今後も継続していく。

・次年度学校教育目標

5 年前から職員全員で話し合っ作っている。

今年度の学校教育目標は「自ら考え 認め合い つながる子」～みんな みなみの子～。去年と同じ目標になったが、

その過程をみんなで考えることが大事。

4) 報告事項

- ・九九道場

谷口先生より電子黒板を使って「九九道場」「プレ九九道場」「アフター九九道場」について報告。

- ・土曜学習

大田委員より電子黒板を使って報告。

- ・6年生 感謝の会

6年生から感謝のプレゼント(手紙)をいただいた。スキャナーで読み込みデータ化したものをオープンチャットにて共有。

5) その他

- ・PTA 報告

- ・収支決算報告

- ・みなスク通信

本日に印刷物受け取り。明日から学校・地域に配布。

- ・学校より

- 通知表の所見について

毎学期毎から、3学期のみへ。

- 水曜日の時間割について

1～3年生 13:15下校

4～6年生 14:10下校

余剰時間を多めに設けているため、授業時数については問題なく確保できている

2点とも教職員の研修、会議、教材研究の時間の確保を目的。特に1～3年生は専科の授業が無いので空き時間が無く、毎日 超過勤務している状況。

今年度で退任の小中村委員より挨拶をいただきました。

●次回日程 2025年度 第1回学校運営協議会 4月16日(水)18時30分~/多目的室